

新課程 英語教科書 対応

英語コミュニケーション: 『BLUE MARBLE』 『BIG DIPPER』 『COMET』

論理・表現: 『EARTHRISE Advanced/Standard』 『BIG DIPPER』

『観点別評価集計例ファイル(Excel 形式)』のご案内

新学習指導要領では、観点別学習状況の評価の観点が「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点到整理されました。この3観点について、教科書やシラバスと合わせてご利用いただける『観点別評価集計例ファイル(Excel 形式)』をご用意いたします。

↓ 観点別評価規準例 (例: 『EARTHRISE』)

Lesson 1 Introduce yourself to your class 評価の観点		観点別評価規準例			
学習内容	配当時間	学習のねらい	1 知識・技能	2 思考・判断・表現	3 主体的に学習に取り組む態度
Before you start... Let's speak about ... (pp. 9-11)	1	「紹介」をテーマに、その文型を用いて表現する。各3領域につき以下目標とする。 A. Speak (Interaction) クラスメートに名前と住んでいる場所、中学校のときのクラブ活動について質問しよう。 B. Speak (Presentation) クラスメートについての発表を30秒程度で行う。 C. Write 50語程度で自己紹介文を書く。	・ (S+V+C) と (S+V+O) の意味・用法の違いを理解している。 ・ (S+V+C) と (S+V+O) の文を用いて、クラスメートとインタビューをしながら、その内容についてクラスで発表する技能を身に付けている。	相手のことを知るために、クラスメートに住んでいるところなどについて質問したり、答えたりしている。また、聞いた内容を整理し、クラスで発表している。	相手のことを知るために、クラスメートに住んでいるところなどについて質問したり、答えたりしようとしている。また、聞いた内容を整理し、クラスで発表しようとしている。
Let's write about ... (pp. 12-13)	1	「友だちを作る効果的な方法は何か」というテーマに關し、自分の意見を理由とともに述べることを目標とする。	・ (S+V+O+O) と (S+V+O+C) の意味・用法の違いを理解している。 ・ (S+V+O+O) や (S+V+O+C) の文を用いて、自己紹介の文章を書く技能を身に付けている。	自分のことを知ってもらうために、自分の好きなことなどについての情報や気持ちを自己紹介の文章として書いている。	自分のことを知ってもらうために、自分の好きなことなどについての情報や気持ちを自己紹介の文章として書こうとしている。
What do you think? (p. 14)	1		「友だちを作る効果的な方法は何か」という論題について、必要な背景知識・語彙・表現を用いて自分の考えを述べる技能を身に付けている。	「友だちを作る効果的な方法は何か」という論題について、自分の考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしている。	「友だちを作る効果的な方法は何か」という論題について、自分の考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。

『観点別評価集計例ファイル(Excel 形式)』

Lesson 1 観点別評価規準例の項目に対する評価の目安

- A: 目標が十分達成できている (達成度: 80~100%)
- B: 目標がある程度達成できている (達成度: 40~79%)
- C: 目標がほとんど達成できていない (達成度: 0~39%)

観点	集計									知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度					
	評価			評価			評価					
	pp. 9-11	pp. 12-13	p. 14	pp. 9-11	pp. 12-13	p. 14	pp. 9-11	pp. 12-13	p. 14			
1 生徒 01	A	A	A	A	A	A	B	B	A	A	A	B
2 生徒 02	C	B	C	C	B	C	C	B	C	C	C	C
3 生徒 03	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
4 生徒 04	B	A	A	B	A	A	B	A	A	A	A	A
5 生徒 05	A	C	B	A	C	A	B	C	A	B	B	B
6 生徒 06	A	A	A	A	A	A	B	B	A	A	A	B
7 生徒 07	C	B	C	C	B	C	C	B	C	C	C	C
8 生徒 08	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
9 生徒 09	B	A	A	B	A	A	B	A	A	A	A	A
10 生徒 10	A	C	B	A	C	A	B	C	A	B	B	B
11 生徒 11	A	A	A	A	A	A	B	B	A	A	A	B
12 生徒 12	C	B	C	C	B	C	C	B	C	C	C	C
13 生徒 13	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
14 生徒 14	B	A	A	B	A	A	B	A	A	A	A	A
15 生徒 15	A	C	B	A	C	A	B	C	A	B	B	B
16 生徒 16	A	A	A	A	A	A	B	B	A	A	A	B
17 生徒 17	C	B	C	C	B	C	C	B	C	C	C	C